



10/8~10/10 (土)(月) 壮大な琉球オペラに拍手喝さい

市文化芸術振興事業、琉球オペラ創出事業「アオリヤエーようどれに眠る愛」がてだこホール大ホールで上演されました。

2年目の上演となる「アオリヤエ」は、より深い表現、可能性を見出すため、子ども達だけでなく大人も交えて昨年の「子どもオペラ」から新たに「琉球オペラ」と銘打ち、また劇中音楽も昨年の2倍以上に増やすなど、更に成長をみせた作品となりました。

来場者は、「何度観ても、アオリヤエは素晴らしい」「生のオーケストラの音楽や演技がすごく、とても迫がありました」などと話していました。



10/11 (火) 戦没者の御霊の冥福を祈る

「第65回浦添市戦没者追悼式」が浦添城跡内にある「浦和の塔」で行われ、約110人の参列者が戦争の犠牲となった御霊の冥福と世界の恒久平和を祈りました。

参列した市長は「今日の平和で豊かな世の中が、多くの犠牲の上にあることを決して忘れてはなりません」と、挨拶しました。

また、式には8月に長崎市に訪問した浦添市中生平和交流団の生徒10人も参列し、「私たちは、命の尊さや平和であることを未来へ伝えていかなければならない」と、メッセージを読み上げました。



与那覇 竜太さん 志喜屋 正明さん

10/7 (金) 「輝くてだこ市民賞」第5号表彰

スポーツ・文化などの分野で活躍し、顕著な成績を収めた方に贈られる「輝くてだこ市民賞」の第5号に、今年8月の「全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会」と10月の山口国体の96kg級で優勝を果たした浦添工業高校3年の志喜屋正明さんが選ばれ、その表彰式が行われました。志喜屋さんは、「賞をいただき嬉しい。今後も全国優勝していけるよう頑張りたい」と、話しました。

また、5月に同賞の第1号として表彰された与那覇竜太さん(同校2年)も同じ2大会の84kg級で優勝し、2人とも連続優勝という快挙を果たしました。



10/9 (日) 自治会アスリートたちの熱きバトル!

「第57回浦添市自治会対抗陸上競技大会」が浦添運動公園陸上競技場で開催されました。

小学生から60代までの各自治会から代表した選手たちが、フィールド、トラックの各競技で熱戦を繰り広げました。大会は、今年も西原自治会が総合優勝をし、6連覇を果たしました。

【総合優勝】西原自治会【男子の部優勝】伊祖自治会

【女子の部優勝】緑ヶ丘自治会

【児童・生徒の部優勝】牧港自治会

【大会新記録】

一般男子100m 比嘉 俊公(経塚自治会)記録10秒8



10/7 (金) 青少年の健全育成と暴力団壊滅を目指して

てだこホール大ホールで青少年の健全育成と暴力団から地域社会を守るための市民総決起大会が開催されました。

大会ではこれまでの活動報告が行われたあと、非行の根源である青少年の深夜はいかい防止や夜型社会の風潮の是正、また暴力団から地域社会を守るため、暴力団壊滅運動の必要性などが大会スローガンや大会宣言で確認されました。

また、大会終了後は、大ホール前広場において、子ども達の安全確保や犯罪防止を目的として「青色回転灯装備車両出発式」と「浦添地区地域安全運動出発式」が行われました。



9/13~9/15 (火)(木) 雇用・就労支援強化のために

障がい者の雇用・就労支援に関する理解を深めることを目的に、就労移行支援や就労継続支援を行う20事業所による自主製品の販売会やパネル展示が市役所1階ロビーで行われました。

今回初めて開催されたこの催しは、9月の「障害者雇用支援月間」に伴い行われ、菓子類やアイスクリーム、装飾品など多種多様な商品が並べられた会場は、買い求める来場者でにぎわいを見せていました。

また、支援月間の期間中には、就労・雇用相談会や研修会も行われ、障がい者の就労支援強化に向けた様々な取組が行われました。

9/7 (水) 21世紀を拓く人材の育成 あこがれの海外へ

市の中学生海外短期留学派遣事業で夏休み期間中の4週間、アメリカのワシントン州レイクウッドにホームステイした中学生の市長への報告会が行われました。

この事業は、海外で学習する機会を与え、国際社会に適應する資質・能力を養い、創造性、国際性に富む人材の育成を図るため行われ、市内の中学校から選ばれた生徒5人が参加しました。生徒たちは、海外での生活になじめるかどうか不安だった様子や、日本とアメリカの文化の違いを経験できたこと、留学の経験を通して自立心と大きな自信を持ったことなどを報告しました。

